

八戸漁港流通構造改革拠点漁港整備事業の中核担う

漁船漁業改革推進プロジェクトと八戸再生プロジェクトの概要

【八戸漁港再生推進委員会 委員長 山田修路】

八戸漁港は、東北地方の重要な漁港であり、その活性化は地域の発展に不可欠である。本プロジェクトは、漁船漁業の構造改革と八戸漁港の再生を一体的に進めることを目指している。

まず、漁船漁業の構造改革については、最新の合理的な操業を実現し、収益向上を図ることが重要である。これには、船体の改良や設備の更新、操業効率の向上などが求められる。また、漁獲物の衛生高度化対策も重要な課題である。

次に、八戸漁港の再生については、流通構造の改革と拠点整備が中核となる。漁船の集積・荷役効率を向上させ、流通コストを削減することで、地域の漁業者の利益を守り、持続可能な漁業を営むことを目指す。

本プロジェクトは、関係機関と連携し、総合的な対策を実施していく。八戸漁港の再生と漁業の持続可能な発展を実現するべく、取り組んでいく。



最新の合理的な操業を実現

漁船漁業構造改革の牽引役

山田 修路

八戸漁港再生推進委員会 委員長

最新の合理的な操業を実現するために、船体の改良や設備の更新が不可欠である。特に、操業効率の向上とコスト削減が重要な課題である。最新の合理的な操業を実現するには、最新の技術とノウハウを駆使し、船体の改良や設備の更新を進める必要がある。

また、漁獲物の衛生高度化対策も重要な課題である。最新の衛生対策を導入し、漁獲物の品質を向上させることが、消費者からの信頼を得るための鍵となる。

本プロジェクトは、最新の合理的な操業を実現し、漁業の持続可能な発展を実現するべく、取り組んでいく。

漁船漁業構造改革推進プロジェクト第1船「第83惣寶丸」竣工

抜本的な収益向上実現へ

山田 修路

八戸漁港再生推進委員会 委員長

最新の合理的な操業を実現し、収益向上を図ることが重要である。これには、船体の改良や設備の更新、操業効率の向上などが求められる。また、漁獲物の衛生高度化対策も重要な課題である。

本プロジェクトは、最新の合理的な操業を実現し、漁業の持続可能な発展を実現するべく、取り組んでいく。



竣工した第83惣寶丸

北部太平洋巻網漁船のモデルに

業界と地域に成果還元

山田 修路

八戸漁港再生推進委員会 委員長

最新の合理的な操業を実現し、収益向上を図ることが重要である。これには、船体の改良や設備の更新、操業効率の向上などが求められる。また、漁獲物の衛生高度化対策も重要な課題である。

本プロジェクトは、最新の合理的な操業を実現し、漁業の持続可能な発展を実現するべく、取り組んでいく。

刺身用船凍サバを生産 万全の衛生高度化対応

最新の衛生対策を導入し、漁獲物の品質を向上させることが、消費者からの信頼を得るための鍵となる。本プロジェクトでは、最新の衛生対策を導入し、漁獲物の品質を向上させることに注力している。

また、操業効率の向上も重要な課題である。最新の技術とノウハウを駆使し、操業効率を向上させる必要がある。

本プロジェクトは、最新の合理的な操業を実現し、漁業の持続可能な発展を実現するべく、取り組んでいく。



竣工した第83惣寶丸

業界と地域に成果還元

最新の合理的な操業を実現し、収益向上を図ることが重要である。これには、船体の改良や設備の更新、操業効率の向上などが求められる。また、漁獲物の衛生高度化対策も重要な課題である。

本プロジェクトは、最新の合理的な操業を実現し、漁業の持続可能な発展を実現するべく、取り組んでいく。

積極的にミニ船団化を提案

主要要目	
船主	株式会社福島漁業
船名	第83惣寶丸
船種	株式会社三保造船所
竣工	19年7月3日
竣工	19年11月29日
竣工	20年2月29日
船種	巻網漁船
船型	3段前付二層甲板船
船長	64.80m
船幅	55.96m
船高	53.75m
総重量	11,80t
総トン数	6,724.14t
満載排水量	4,088t
乾舷	0.058t
乾舷(船首)	-0.08t
乾舷(船尾)	0.44t
乾舷(全幅)	0.18t
I.M.O.No.	9474187
総トン数	6,729t
乗組員	24人
主機関	ダイハツ 6DKM-36L-1 2,820mm×500mm
推進器	4翼型プロペラ 2スクリュー D=3,200mm×P=2,560mm
速力(公試最大)	17.030kt
速力(満載航海)	15.000kt
船体耐振動(ブレイク)	445.29立方t
甲板耐振動(ブレイク)	328.84立方t
甲板耐振動(ブレイク)	397.92立方t
甲板耐振動(ブレイク)	271.55立方t
燃料油	330.11立方t
冷却水	16.72立方t
潤滑油	9.89立方t
雑用清	31.88立方t
総排水ライン	日産量 280t/24H P=3.000kw 9.70t

積極的にミニ船団化を提案

ライン凍結装置も最新に

最新の合理的な操業を実現し、収益向上を図ることが重要である。これには、船体の改良や設備の更新、操業効率の向上などが求められる。また、漁獲物の衛生高度化対策も重要な課題である。

本プロジェクトは、最新の合理的な操業を実現し、漁業の持続可能な発展を実現するべく、取り組んでいく。



船体の構造図